

直近1ヶ月間の通常流通用抗インフルエンザウイルス薬の供給状況について
(1月25日時点)

1. 卸売業者から医療機関・薬局等への供給量（12月29日～1月25日）

● 合計 約57.1万人分

○ タミフル 約1.5万人分
(カプセル 約1.8万人分)
(ドライシロップ 約▲0.3万人分)

○ ラピアクタ 約0.2万人分

○ ゾフルーザ 約29.4万人分
(錠剤 約27.3万人分)
(分包 約2.1万人分)

○ オセルタミビル「トーワ」 約5.3万人分
(錠 剤 約3.8万人分)
(ドライシロップ 約1.5万人分)

○ リレンザ 約1.4万人分

○ イナビル 約10.8万人分

(吸入粉末剤 約10.8万人分)
(吸入懸濁用 約0.1万人分)

○ オセルタミビル「サワイ」 約8.5万人分
(カプセル 約7.2万人分)
(ドライシロップ 約1.3万人分)

・▲(マイナス)は、卸から医療機関・薬局等への供給量に比べ、医療機関・薬局等から卸への返品量が多かったことによるもの
・四捨五入の関係で合計が合わない場合があります

2. メーカー・卸売業者の保有量（1月25日時点）

● 合計 約2,800万人分

○ タミフル 約459万人分
(カプセル 約210万人分)
(ドライシロップ 約248万人分)

○ ラピアクタ 約33万人分

○ ゾフルーザ 約927万人分
(錠剤 約706万人分)
(分包 約221万人分)

○ オセルタミビル「トーワ」 約206万人分
(錠 剤 約129万人分)
(ドライシロップ 約77万人分)

○ リレンザ 約88万人分

○ イナビル 約639万人分

(吸入粉末剤 約632万人分)
(吸入懸濁用 約7万人分)

○ オセルタミビル「サワイ」 約449万人分
(カプセル 約351万人分)
(ドライシロップ 約98万人分)

・四捨五入の関係で合計が合わない場合があります

問い合わせ先

医政局医薬産業振興・医療情報企画課

抗インフルエンザウイルス薬の供給量

期間	卸売業者から医療機関・薬局等への供給量
12/29～1/4	15.1万人分
1/5～1/11	26.2万人分
1/12～1/18	5.9万人分
1/19～1/25	9.8万人分

※12月29日から1月25日の卸売業者から医療機関・薬局等への供給量は、約57.1万人分

※1月25日時点のメーカー・卸売業者の抗インフルエンザウイルス薬の保有量は、約2,800万人分

※▲（マイナス）は、卸から医療機関・薬局等への供給量に比べ、医療機関・薬局等から卸への返品量が多かったことによるもの。今シーズンにおいて感染の拡大が懸念されたため、医療機関・薬局等において一定の在庫を確保し、感染状況が一定期間にわたって継続することに備えていたことが影響していると考えられる。

なお、返品された製品については、必要としている他の医療機関・薬局等へ供給することで、医療資源の無駄が生じないように努めている。